

大分県予算約7,300億円を審議する第一回定例会が、2月24日から3月26日までの一か月間開催されました。今回は一般質問をつつみ栄三県議が、補正予算に対する質疑等をえんど久子県議が行いました。

日本共産党大分県議団



日本共産党 県政報告



つつみ栄三
(大分市選出)

えんど久子
(別府市選出)

つつみ栄三県議 第1回定例会一般質問



つつみ栄三県議は、県民の要望など5点にわたり知事らに求めました。

憲法9条は平和の宝

大分県を戦場にさせない

つつみ栄三県議は、総選挙の結果を受けて、高市首相が「憲法発議を行う」と改憲の姿勢を所信表明したことに対し、知事に「憲法9条の認識」を問いました。

また「大分では敷戸弾薬庫やミサイル指令機能など、戦争準備のための整備が行われている」「県民の安全を守るためにも、憲法9条の改定に反対の意思表示をすべきである」とただしました。知事は「憲法9条は、戦後の平和国家の役割を果たしてきた」「改正は国民の承認によって成立



するものである」と答弁。しかし再質問への答弁で「厳しい国際情勢の中で、憲法改正の議論もされている」とのべ、知事自身として「憲法9条は守る」という立場に立っていない姿勢に終始しました。

佐賀関大火災からの復旧支援について

地域の「コミュニティ」 再建こそ大事

つつみ栄三県議は「被災後の復旧は地域のコミュニティを維持しておこなうこと」「関サバ・

関アジのブランドを守るためにも八潮工業さんの復活は、なくてはならないものであり継続して事業ができるよう支援を強めること」などを求めました。知事は「復興市営住宅の建設などの復旧整備について、技術的助言や道路や上水道等の整備



田村貴昭前衆議院議員と一緒に区長さんらに復旧のための救援募金を届けました

もしつかりと支援をしていく」と答弁。そして「地元漁協に対して漁具の製造再開に必要な支援をしていく」と支援を約束しました。

また、関アジ・関サバなどの消費拡大のためのフェアの開催や、本町商店街などでイベント開催への支援もしていくと表明しました。



大分県議会
インターネット中継

令和8年第1回定例会
3月10日
本会議 一般質問



同和对策事業の終結を

運動団体などの利権をなくせ

昨年発覚した部落解放同盟による「官製談合事件」が、「特定運動団体幹部と大分市職員との間の不均衡な関係を背景とした事件であり、偶発的な不祥事ではない。行政内部の構造的な問題があったからであり、今回の事案は氷山の一角である」とした、第三者調査委員会の報告書に基づき、知事の姿勢をただしました。



当時の大分市長は佐藤

県内の中小企業へ直接支援を

県内中小企業の経営が継続できるように

樹一郎現知事であり、関与等については「覚えていない」と述べている問題でも、「覚えていないで済まされる問題ではない」と迫りました。しかし知事は、この問題には触れず「いまだに部落差別はある」「インターネット上にも部落差別の書き込みが12件ある」といつて、今後も施策の推進をしていくと答弁しました。

つつみ栄三県議は「最低賃金が上がって、県内3万2千社余りの中小企業に対し、岩手県などが行っているような現金支給などの直接支援が必要ではないか」とただしました。県は、国の制度を受けている事業者への支援はするが、直接支援は一過性のものであり、収益向上につながるという姿勢に終始しました。

つつみ栄三県議は「大分県でも倒産件数が増えており、体力的に厳しい中小企業にこそ直接支援が必要」とさらに実施を求めました。



学校の先生を増やすこと

長時間勤務の改善は定数増で

つつみ栄三議員は、教職員の働き方改革と教員確保について質問しました。

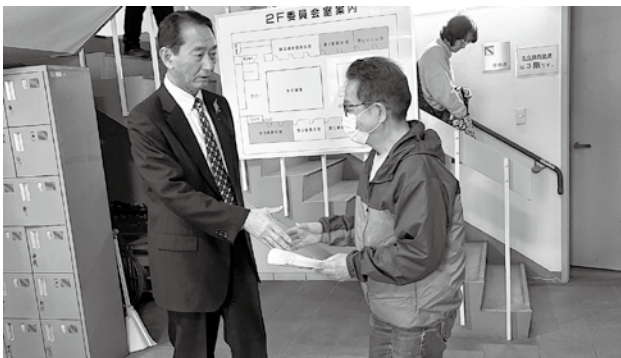
まず昨年改正された給

特法について、「教職調整額を段階的に10%引き上げる一方で、残業代を支給しない仕組みは問題ではないか」など4点についてただしました。教育長は「人材確保のため必要な処遇改善だ」

と、残業についての認識は示しませんでした。

つつみ栄三議員は「残業時間が依然として高止まりしている現状では教職調整額引き上げだけでは長時間労働は解消されず、本来は労働基準法に基づき残業代を支払うべきだ」と指摘。

また「教員不足解消のためには正規教員を増やすことが現場の要望であり、教育環境改善のためにも必要である」と改めて強調しました。



予算特別委員会 で 75 項目を質疑

つつみ栄三・えんど久子議員は連日75項目にわたる質疑をし、県民の声を届けました。一方、3分の2ほどの議員は、5日間の予算特別委員会で質疑ゼロ～2回でした。

日本製鉄のばいじん対策の強化を

「ばいじんは少なくなったとはいえ、まだまだ日常生活には被害が出ている以上、規制強化など監視を強めること」など求めました。

住宅リフォーム助成制度の創設を

「家の長寿命化や耐震化、県産材の使用や建設関連事業者の仕事起こしでも、リフォーム助成制度は有効」とその創設を求めました。

大空団地で買い物難民が出ないように

大分市舞鶴地域の空団地で唯一のコンビニが撤退したことで、買い物難民が出ないように公社と協議をし、出店を要請するよう求めました。

無駄な事業は中止を

東九州新幹線は在来線などの疲弊問題を県民に情報提供することや、豊予海峡ルート構想は、活断層もあり莫大な費用もかかるので中止することを求めました。

学校給食費への助成について

学校給食費の無償化について、基準額の月5,200円を超える場合に、市町村が負担をし、保護者負担が生じないようにしていると明らかにしました。

福祉職場のカスハラ対策や動物愛護について

介護や福祉職場のカスハラ対策や幅広い動物愛護の団体に支援が届くようにと求めました。

国保税に子育て支援金分を上のせと使用料値上げに反対 各議案に対する態度

		日本共産党	自由民主党	県民クラブ	公明党	志士の会	無所属の会	日本維新の会	採決	
議案	2026年度一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	必要な予算もあるが、同和対策予算・豊予海峡ルート構想など大型事業への予算となっているので反対
	国民健康保険事業特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	子ども支援金分の財源として13億円含まれている。保険料に上乗せするのではなく、国の予算として予算化すべきと反対
	大分県立アルゲリッチ記念館の設置及び管理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	アルゲリッチハウスの県有化のための措置であるので賛成
	大分県使用料及び手数料条例の一部改正	×	○	○	○	○	○	○	○	県有施設の使用料や飲食店営業許可の手数料など411件の値上げに反対。行政サービスとして県が負担すべき
請願	OTC類似薬の保険適用除外を行わないことを求める	○	×	×	×	×	×	×	×	一部保険適用から外されれば負担増となるので賛成
議員派遣	フランス・スイス・ドイツへの議員派遣について	×	○	○	○	○	○	○	○	4面参照

日本共産党のえんど久子県議 県議会のあらゆる場で ケア労働者の社会的地位アップを求める

報酬アップだが全く不十分

医療・介護・障がい福祉などの現場の声を届けてえんど久子県議は3月3日、本会議で質疑。

診療報酬が低く全国で7割の病院が赤字です。みなさんの声と運動により、診療報酬・介護報酬は6月に引上げ予定です。6月までの半年分の給与を前倒しで引き上げるための県の補正予算案について質疑しました。

ガソリン代などへの対応も必要

えんど県議は「経営者を含めた賃上げも必要。長距離の移動やガソリン代の値上げにも対応すべきだ」と主張。県は「物価や賃金の上昇に応じスライドさせる仕組みも要望しており、地域の実態を国に伝えていきたい」などと答弁しました。3面にも関連記事あり。

利用者負担は増えない

事務職員を含む雇用されている全ての従業員の基本給を引き上げることや、患者や利用者の負担増にはならないことなどを県は答弁。

幅広い職種の賃上げを

えんど久子県議は「報酬アップはまったく不十分だ」「デジタル化や効率アップと言われても在宅の場合は難しい」などの現場の声を紹介し、幅広い職種が賃上げになるのか、国民の負担増にならないのか、などを質問しました。



現場の様々な声(右枠の内容)を紹介しながら県議会で県知事や部長らに訴えるえんど久子県議。

えんど久子が県議会にケア現場の声を届ける

「賃金がなかなか上がらず、看護師の離職が相次ぎ、休みが取れず疲弊し、さらに離職につながりかねない」
「若い人はケアマネなどになっていき、ヘルパーは60代から70代が中心」
「ボランティア精神搾取ではないか」
「介護士の社会的地位が低すぎる。異次元の賃上げをしてほしい」「いつまでつづけられるか…」

ヨーロッパへの視察に反対

今回、フランス・スイス・ドイツに22名(自14・県民ク5・維新1・志士の会1・無1)の議員が、税金3,400万円を使い海外調査研究に行く予定となっています。

日本共産党は、県民の暮らしが大変な中、議員が税金を使って海外視察に行くべきではないと反対しました。反対は日本共産党だけでした。

